

本州四国連絡高速道路（株）入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和5年8月2日（水） 本社11階 会議室	
出席委員	友 廣 隆 宣（弁護士） 八 木 知 己（大学教授） 淵 川 和 彦（大学教授）	
審議対象期間	令和4年10月1日～令和5年3月31日	
抽出案件	抽出案件 5 件	件名
条件付一般競争	1 件	・令和4年度鳴門管内舗装補修工事
簡易公募型競争	1 件	・新高須橋他2橋耐震補強設計業務
指名競争（公募併用型指名競争）	1 件	・坂出北インターチェンジ改築（その2）工事
随意契約	1 件	・料金收受実施業務委託（神戸淡路鳴門自動車道：神戸西料金所他）
グループ会社契約	1 件	・令和5年度今治管内長大橋機能保全業務
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する応答等	・別紙のとおり	・別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・意見の具申又は勧告はなかった。	

意見・質問	回答（説明を含む）
<p>①入札方式別発注業務について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	
<p>②指名停止等運用状況について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	
<p>③条件付一般競争（令和4年度鳴門管内舗装補修工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開札時に使用する評価点はどのように算出しているのか。</li> <li>・ どのような場合に低入札価格調査をするのか。内部基準があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準点（100点）に、申請時に提出された技術資料の内容を採点した加算点を足して算出している。</li> <li>・ 予定価格が1,000万円を超える場合は低入札価格調査を設定することとしている。なお、低入札価格調査を設定する場合はその旨を入札広告等に明記している。</li> </ul>
<p>④簡易公募型競争（新高須橋他2橋耐震補強設計業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぜこの3橋を業務の対象にして発注したのか。</li> <li>・ 耐震補強設計が必要な橋梁の抽出はどのような考え方で行っているのか。抽出業務を別途発注しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内で耐震補強設計が未了となっている橋梁のうち、照査業務が完了した橋梁をまとめて発注したもの。</li> <li>・ 橋梁の設計時に適用した道路橋示方書を確認し、古い示方書を適用したものから耐震補強を進めている。抽出業務の外注はしていない。</li> </ul>
<p>⑤指名競争〔公募併用型指名競争〕（坂出北インターチェンジ改築（その2）工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぜ協議合意方式を適用したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂出北インターチェンジは令和6年度の開通を計画しており、時間的制約がある。また、本工事の後続工事として舗装工</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通保安要員の単価に係る差額（+10 百万円）が大きいように感じるが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事、標識工事等の発注を予定していることから、契約を確実に進めるべく当該方式を採用したもの。</li> <li>・ 当該単価の算出に当たっては、国などの標準的な単価に基づき積算を行っているが、積算額と下請予定業者の見積額との乖離が大きかった。</li> </ul>
<p>⑥随意契約（料金收受実施業務委託（神戸淡路鳴門自動車道：神戸西料金所他））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ETC の普及により、配置人員は減少しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 料金所の運営に必要な最低人員となっている。</li> </ul>
<p>⑦グループ会社契約（令和 5 年度今治管内長大橋機能保全業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋梁全体のうち短区間を発注しているようであるが、規模を広げて橋梁全体を一体発注はしないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算の制約上、点検結果に基づいて優先順位を付したうえで、概ね 1 年程度で完成可能な範囲分をその都度発注しているところ。</li> </ul>
<p>⑧子会社の外注の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	